

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 総務課		重点項目	局内の連絡調整、予算および決算に関する事務を適正に行う。							
	課長名	田尾 弘		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	3,737,515 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
						平成29年度当初予算額(B)	3,690,790 千円		124,000 千円	係長	3 人
				増減額(A-B)	46,725 千円			職員	11 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				土木職員費	土木職員費	—	3,609,273	3,683,982	74,709
2				西部整備事務所(コムシ ティ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	—	7,264	7,109	-155
3				建設総務一般	総務および用地管理に係る一般事務経費	—	14,787	14,812	25
4				研究集会等参加事業 (人権研修会等経費)	人権研修等の参加に要する経費	—	112	140	28
5				土地取得特別会計繰出 金	土地取得特別会計への繰出金	—	53,549	26,999	-26,550
6				東西整備事務所保有車 両リース化事業	東西整備事務所が保有する車両の一括リース化	—	5,120	4,473	-647
7			○	大都市土木協議会	政令都市が持ち回りで行う「大都市土木協議会」の会場費用等	—	685		-685

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 管理課		重点項目	道路の適正管理							
	課長名	猪本 由美子		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	283,396 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
						平成29年度当初予算額(B)	296,225 千円		101,500 千円	係長	3 人
				増減額(A-B)	-12,829 千円			職員	8 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	—	168,695	158,423	-10,272
2				道路不法占用物件除却 事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全で快適な道路環境を保持するもの	—	1,965	1,790	-175
3				屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	はり札等の違反広告物設置業者の調査を実施する	35,828	35,053	-775
4				道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	—	69,588	67,373	-2,215
5				土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	—	20,149	20,757	608

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 用地管理課		重点項目	・地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。								
	課長名	井上 靖		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	94,403 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						平成29年度当初予算額(B)	91,535 千円		181,500 千円	係長	5	人
						増減額(A-B)	2,868 千円			職員	16	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				地籍調査事業	国土調査法に基づき、一筆毎の土地の所在・筆界・面積等を調査・測量し、境界を明確化するもの。 調査の成果は法務局に送付後、登記に反映される。	・国は、土砂災害等の被害想定範囲や道路、公園等の社会資本総合整備事業の先行事業としての地籍調査に優先的に補助金を割り当てている。本市においても国の動向を踏まえた調査区域を検討し、要望を行っている。 ・地籍調査事業の着実な推進のため、一筆地調査面積を拡大した(H29 0.74km ² →H30 1.18km ²)。	91,535	94,403	2,868

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路部 (道路維持課、道路計画課、 道路建設課、街路課)		重点項目 本市の成長戦略及び都市の強靱化に大きく関わる路線、早期に整備効果が発現される路線を重点的に整備する。また、通学路の安全対策などを着実に実施し、安全で安心な都市基盤の整備を推進するとともに、橋梁・トンネルの長寿命化、道路構造物の定期点検を計画的に実施し、効率的で適正な維持管理に取り組む。					
	課長名	石川 達郎、竹田 幸夫、 喜洲 淳哉、松本 公行、 山添 和己		平成30年度当初予算額(A)	25,597,207 千円	人件費	目安の金額	課長 5 人
		平成29年度当初予算額(B)		23,251,153 千円	570,000 千円		係長 16 人	
コスト	事業費	増減額(A-B)	2,346,054 千円	職員 47 人				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			東九州自動車道等整備 促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス 建設促進期成会等の要望活動にかかる経費。	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効 率化を図るため、協議会を通じ国等に積極的に働きかける。	4,272	3,910	-362
2				施設維持管理事業(指定 管理)	河内サイクリングセンターの管理運営業務に係る指定管理業務 委託料	指定管理者と協力し、効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図 る。	2,643	2,646	3
3				施設維持管理事業	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費		240	240	0
4				放置自転車対策事業(指 定管理)	自転車駐車場の管理運営業務に係る指定管理業務委託料		市営自転車駐車場の利用実態や周辺の放置自転車の状況等を総合的に勘案し、安全・安 心な駐輪環境の提供と効率的な自転車駐車場の管理運営、放置自転車対策に取り組む。	226,433	226,327
5				放置自転車対策事業	自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去等に係る経費		69,142	63,690	-5,452
6				自転車利用促進事業(行 政経費)	コミュニティサイクル(シティバイク)のステーション運営及び利用 促進に係る経費	効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	3,141	2,851	-290
7			○	若戸大橋安全対策推進 事業(基金事業)	若戸大橋の改修工事に対して補助金を交付し、安全性の確保 と走行性の向上を図る。	—	150,000		-150,000
8			○	若戸大橋・若戸トンネル 維持管理支援事業	若戸大橋および若戸トンネルの維持管理費用に対して補助金 を交付し、両道路の安全を確保する。	—	200,000		-200,000
9	○	○		<新>防災・安全交付金 (道路維持)(債務負担)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ 部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施 する。	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの 考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践する。		60,000	60,000
10	○			防災・安全交付金(道路 維持)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ 部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施 する。		2,280,000	1,980,000	-300,000
11	○			単独事業(道路維持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施する。		1,815,800	1,420,000	-395,800

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12	○			市民による地域のまちづくり整備事業(道路維持)	身近な生活道路の環境整備や補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進する。		682,200	682,200	0
13				にぎわいの都市づくり(道路維持)	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行う。	道路構造物の定期点検、長寿命化修繕計画に基づく修繕を実施し、アセットマネジメントの考え方を取り入れ、効率的・効果的な管理を実践する。	322,000	321,800	-200
14		○		<新>公共施設等適正管理推進事業	道路の適正な管理を実施するため、補助事業等と一体となって道路施設の長寿命化対策を推進する。			516,000	516,000
15				道路一般維持	生活道路等の維持管理を実施するための経費。	市民要望等、緊急度を勘案した上で、効率的・効果的な維持管理を実施する。	1,360,903	1,354,395	-6,508
16				道路管理施設維持	道路照明灯やトンネルなどの施設を維持管理するための経費。		612,000	611,842	-158
17		○		<新>若戸大橋・若戸トンネル無料化推進事業	平成30年度の若戸大橋・若戸トンネルの無料化を実施するための経費。	平成30年度に若戸大橋、若戸トンネルの無料化を実施する。		200,000	200,000
18		○		<新>若戸大橋・若戸トンネル無料化推進事業				2,800,000	2,800,000
19	○			道路サポーター	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化につなげる。	市民と行政の協働による道路の美化清掃、道路異常箇所の通報などの活動により、良好な道路環境の維持につなげる。	17,810	16,297	-1,513
20	○			恒見朽網線関連事業(道路改築)	新門司港、北九州空港移転跡地、臨空産業団地、北九州空港などの産業物流拠点が集積する周防灘沿岸部の物流機能強化を目的に恒見朽網線などの道路整備を行う。		900,000	990,000	90,000
21	○			国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担する。		750,000	1,240,000	490,000
22	○			社会資本整備総合交付金(道路改築)(債務負担)	国道や地方道の道路新設改良を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	535,000	20,000	-515,000
23	○			社会資本整備総合交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。		884,000	1,200,000	316,000
24	○			単独事業(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。		931,000	820,000	-111,000
25				防災・安全交付金(交通安全)(債務負担)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	110,000	0	-110,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
26	○			防災・安全交付金(交通安全)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	1,060,000	1,143,000	83,000
27	○		都市再生整備計画(交通安全)	都市再生整備計画で整備する主要な施設の周辺道路において、交通安全対策を行う。	190,000		346,000	156,000	
28	○		単独事業(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。	1,040,000		990,000	-50,000	
29	○		都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区、黒崎副都心地区にふさわしい、景観に配慮した道路の整備を行う。	小倉都心地区、黒崎副都心地区のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。	0	160,000	160,000	
30	○		単独事業(道路景観)	世界の環境首都をめざし、景観や環境に配慮した道路の整備を行う。	本市のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施する。	300,000	270,000	-30,000	
31	○		戸畑枝光線(街路)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	1,000,000	1,480,000	480,000	
32	○		社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	地方道の都市計画道路の整備を行う。		2,213,964	1,250,000	-963,964	
33	○		社会資本整備総合交付金(街路)	地方道の都市計画道路の整備を行う。		1,546,036	1,671,000	124,964	
34	○		単独事業(街路)	地方道の都市計画道路の整備を行う。		810,000	650,000	-160,000	
35	○		モノレール停留場老朽化対策事業	モノレール停留場における老朽化対策を実施する。	点検結果に基づき優先度を勘案した上で、防災・安全交付金を活用し、効率的・効果的な管理を実践する。	180,000	0	-180,000	
36				公債償還特別会計繰出金	—	—	654,569	705,009	50,440
37				街路事業用地先行取得事業	街路事業用地の先行取得を実施する。	—	2,400,000	2,400,000	0

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 公園管理課		重点項目	公園、霊園及び街路樹等の適切な維持管理の実施。									
	課長名	塘 政輝		コスト	事業費	平成30年度当初予算額(A)	2,669,026 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人	
平成29年度当初予算額(B)			2,652,443 千円			76,500 千円	係長		2	人			
					増減額(A-B)	16,583 千円	職員					6	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				有料施設等管理委託 (指定管理者)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」、「勝山公園・あさの汐風公園」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	823,590	816,567	-7,023
2				有料施設等管理委託 (財源配分)【公共】	市立霊園に係る管理運営経費	—	43,931	43,251	-680
3				有料施設等管理委託 (財源配分)【その他】	市立霊園に係る管理運営経費及び有料公園施設の備品購入経費	—	18,204	16,114	-2,090
4				到津の森公園基金積立 事業	到津の森公園基金積立事業	—	19,000	19,000	0
5				到津の森公園動物導入 事業	動物の移送・購入	—	5,000	5,000	0
6				公園等維持管理事業	市内全域における公園等の維持管理事業	—	1,520,034	1,530,531	10,497
7				自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業	—	2,478	2,122	-356
8				公園等一般管理(維持& 内部管理)	市内無料公園の維持管理事業	—	203,373	222,585	19,212
9	○			公園管理活性化事業	公園愛護会事業及びホームレス対策事業	—	6,097	6,420	323
10				市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	—	4,736	4,736	0
11				菜園などの地域コミュニ ティ活性化に資する公園 活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備事業	—	3,000	2,700	-300

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12			○	今後の公園管理のあり 方検討事業	将来に渡って安定的に公園を維持管理し、公園利用の活性化 を図っていくための新たな仕組みについて調査・検討を行う。	—	3,000		-3,000

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 緑政課		重点項目 ■環境首都にふさわしい緑のシンボルづくり(曾根・豊岡地区) ■交流人口の増加に資する集客力の高い公園の整備(血倉山周辺地区、勝山公園(小倉城周辺)) ■地域ニーズに対応した身近な公園の再整備(地域に役立つ公園づくり、健康づくり、長寿命化ほか) ■市民ニーズを踏まえた公園の統廃合・再編(桃園公園施設再配置推進ほか)
	課長名	奥野 静人	
		事業費	平成30年度当初予算額(A) 1,925,900 千円 平成29年度当初予算額(B) 2,137,420 千円 増減額(A-B) -211,520 千円
		人件費	目安の金額 94,000 千円 課長 1 人 係長 3 人 職員 7 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				血倉山リニューアル事業	平成27年度に官営八幡製鉄所関連施設が世界文化遺産に登録されたことを契機に、観光振興をさらに向上させるため、血倉山周辺の新たな魅力創出のための山頂エリアの施設整備や駐車場整備などを行うもの。	観光振興と利用者の利便性向上のため、血倉山3合目付近の「くきみ台広場」の実施設計を行う。	30,000	4,000	-26,000
2				勝山公園(小倉城周辺)魅力向上事業	小倉城周辺の歴史的・文化的なイメージを生かし、あわせて利便性や魅力向上のため、園路及び広場、サクラの更新などを行い、回遊性のある名所としていくもの。	小倉城周辺の賑わい創出のため、松の丸広場(花見広場)の改修を行う。	125,500	64,000	-61,500
3				桃園公園施設再配置推進事業	桃園公園にあるスポーツ・文化施設の再整備について、広域的・長期的な視点から検討を行い、施設の再配置計画を策定するもの。	H32年開催のオリンピック、パラリンピックのキャンプ地誘致に向けて、桃園公園室内プール隣接駐車場及び、城山緑地アーチェリー場の実施設計を行う。	8,000	28,200	20,200
4				曾根・豊岡地区公園整備事業	曾根・豊岡地区(9.7ha)において、グラウンド、野鳥観察エリアなどの整備を行う。	早期開設にむけて、関係機関と調整を行い、円滑に事業を推進する。	150,000	59,000	-91,000
5				北九州市民球場改修事業	市民や野球関係者から要望のある老朽化した内野指定席の改修、建築物の耐震工事を行う。	観客が快適かつ、安全に観戦できるよう、座席幅の拡張、緊急時の通路の余裕幅の確保に努めた整備の実施設計を行う。	89,000	6,000	-83,000
6				登山道・遊歩道の整備	登山ブームやH28年に施行された「山の日」に対応し、眺望の確保や標識の設置、危険箇所の改修を行うもの。	眺望確保、標識等に加え、利用者への観光情報発信のため、観光的要素を有した案内板の設置も推進する。	12,000	6,000	-6,000
7	○			社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園を整備し、市民満足度の向上を図る。	地域ニーズを踏まえた公園再整備や公共施設マネジメント実行計画沿った公園施設の再編に取り組む。	332,200	382,100	49,900

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8			○	都市再生整備計画(公園)	都市再生整備計画区域において、都市公園の整備を行う。	—	17,600		-17,600
9				防災・安全交付金(公園)	防災公園を含めた都市公園を整備・改修し、非常時、通常時を含めた安全性の確保を図る。	長寿命化計画に基づく施設改修やバリアフリーなど安全・安心な公園利用を推進する。	135,700	63,700	-72,000
10	○			公園緑地事業(単独)	住区基幹公園、都市基幹公園等の整備を行う。	市内約1,700箇所の公園について、市民ニーズのより高いものを優先して整備する。	974,825	850,830	-123,995
11				霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行う。	歩道の改修、手摺の設置等を行い、利用しやすい霊園を目指す。	51,725	42,800	-8,925
12				市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行う。	市民生活に密着した公園に関する整備要望に迅速に対応する。	10,000	10,000	0
13				到津の森公園希少動物の保護、導入事業	マダガスカル共和国と本市が共同で、繁殖プロジェクトと教育プロジェクトを実施する。	来年度には希少動物を導入できる見込みであり、関係者の招致や翻訳事務の事業調整を行う。	17,500	5,500	-12,000
14	○			花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行う。また都市緑地法第二条に基づく、「緑の基本計画」を推進する。	・「市民花壇」の配布苗について、安価かつより長く花が持つ植物を選定することで、華やかな花壇が長く継続するよう配慮する。 ・「公共花壇」については、より効果的な場所を選定して植付けを行う。 ・「ひまわりBIGリコンテスト」や「花新聞」など都市緑化に関する普及啓発事業も活発に行う。	80,950	72,270	-8,680
15				大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行う。	各都市の公園部局が近年抱えている課題の解決策を検討する。 (来年の報告案件は「民間活力」「社会福祉施設」「事故賠償」「遊戯施設」)	2,500	2,000	-500
16				水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行う。	積み立てた基金の運用益や寄付金を、緑化助成や公園整備事業に活用することにより、都市内の緑化空間の創出に寄与する。	1,820	6,900	5,080
17				水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てる。		2,500	2,000	-500
18				旧安川邸利活用事業	夜宮公園に隣接する私設の建造物を市に寄付で受け入れ、観光施設として改修するもの。	多くの観光客のため、魅力ある旧邸宅周辺の日本庭園整備を行う。	30,000	67,600	37,600
19				河内温泉改修事業	老朽化している河内温泉の屋根、省エネシステムの設計	太陽光設備を整備することで、電力等の運営コストを削減する。	65,600	253,000	187,400

平成30年度 課の事業一覧

組織名	建設局 河川部 (水環境課、河川整備課、 神嶽川旦過地区整備室)		重点項目 ○小倉都心部の浸水対策については、引き続き重点的に取り組む。 ○その他の地区についても、近年頻発する豪雨災害を踏まえ、計画的な河川改修を推進する。							
	課長名	コスト		事業費	平成30年度当初予算額(A)	2,064,880 千円	人件費	目安の金額	課長	3 人
				平成29年度当初予算額(B)	2,285,641 千円	264,500 千円		係長	8 人	
		増減額(A-B)	-220,761 千円			職員		20 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			重点河川(小倉都心部)整備事業	新成長戦略上も重要な、小倉都心部の浸水対策を推進するため、神嶽川を重点河川と位置づけ、集中的に河川改修を行う	引き続き、治水事業の根幹となる河川整備を推進する。	306,000	102,000	-204,000
2	○			旦過地区再整備推進事業	重点河川(神嶽川)の改修に必要な旦過地区の再整備について、地元関係者との合意形成を図りながら事業化組織の設立を行う		20,000	15,900	-4,100
3				河川管理施設等更新事業	老朽化した河川管理施設等を適切に更新するための経費		74,870	68,912	-5,958
4	○			防災・安全交付金(河川)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である福岡県と協議の上、改修を行うもの		770,000	975,000	205,000
5	○			社会資本整備総合交付金(河川)	市民が河川を通して自然と親しめる水辺環境づくりを行う		3,000	12,000	9,000
6		○		都市再生整備計画(河川)	河川管理道に照明を設置する等、中心市街地の活性化に資する事業を行うもの	—	2,000	-2,000	
7	○			河川改良(単独)	河川の溢水による浸水被害を防ぐため、護岸の整備などを行うもの	引き続き、治水事業の根幹となる河川整備を推進する。	600,330	474,588	-125,742
8				市民による地域のまちづくり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづくりの環境整備を行うもの		40,000	40,000	0
9		○		河川情報システム更新事業	設備の老朽化や複雑化により、不具合が発生している河川情報システムの更新・統合を進め、システムの安定化・簡素化を図る。	—	34,000	-34,000	
10				にぎわいの都市づくり(河川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺の活用、周辺設備の充実を図るもの	イベントの実施に当たって、これまで以上に他のイベントとの相乗効果を狙う(日程調整、合同のPRなど)	24,800	26,600	1,800
11				河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの		669	793	124

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	H30年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成29年度 当初予算額 (千円)	平成30年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12			○	小倉都心部集客アクションプラン推進事業(河川)	①公共空間の魅力アップ、②歩いてみたくなる歩行空間の創出により、市民や来街者の行動範囲を広げ、滞在時間を延ばすことを目指す	—	35,000		-35,000
13				河川管理施設長寿命化計画策定	予防保全的な取り組みにより、河川施設の長寿命化を推進し、改修費の縮減を図る	河川施設(護岸、暗渠、管理橋など)の老朽化が進んでいるため、維持管理計画を策定し、予防保全的な取り組みを推進する	29,000	9,000	-20,000
14				水環境館維持管理(指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	25,738	25,245	-493
15				水環境館維持管理	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費	—	7,570	7,570	0
16				ほたる館維持管理(指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	14,867	14,713	-154
17				ほたる館維持管理	「香月・黒川ほたる館」の管理、清掃、警備に関する委託費や、光熱水道経費	—	7,320	7,320	0
18				ほたる館維持管理	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の書籍等の拡充や老朽化した展示物の補修などにかかる経費	—	1,400	727	-673
19				ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたる塾」の開催費など	・ほたる保護活動の活発化や団体間の交流促進を図る必要がある ・ほたる塾の見直し等、多くの市民が水辺環境について学ぶ環境を整備する	4,340	4,675	335
20				河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの	—	8,059	8,059	0
21				河川管理権限委譲	一・二級河川について、福岡県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費	—	456	561	105
22	○			河川維持事業	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金	—	199,284	190,260	-9,024
23				河川管理一般	河川情報システム等、災害時に現地情報を伝送するための設備の維持管理に必要な経費	—	11,464	10,621	-843
24				河川管理一般	河川賠償責任保険料や河川管理に必要な協議を行うための経費	—	5,218	4,339	-879
25				排水機場等維持管理事業	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費	—	60,256	65,997	5,741